



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月31日

上場会社名 株式会社 三ツ星
 コード番号 5820 URL <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 競 良一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 金城 安弘

TEL 06-6762-6939

四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	6,920	0.7	269	24.6	279	22.1	174	62.2
30年3月期第3四半期	6,968	7.7	358	21.1	359	12.7	461	54.9

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 79百万円 (85.8%) 30年3月期第3四半期 558百万円 (59.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	152.87	
30年3月期第3四半期	403.82	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	9,709	5,195	53.5
30年3月期	9,491	5,172	54.5

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 5,195百万円 30年3月期 5,172百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		50.00	50.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成31年1月31日)公表いたしました「配当予想の修正(創業100周年記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,330	0.8	400	17.0	390	13.2	630	27.7	551.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	1,266,655 株	30年3月期	1,266,655 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	124,739 株	30年3月期	124,738 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	1,141,917 株	30年3月期3Q	1,141,909 株

(注) 当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用、所得環境の改善が続くなかで堅調な企業収益を背景とした設備投資の増加等により、緩やかに回復してきております。

一方、米中貿易摩擦の動向が世界経済に与える影響や、中国の景気減速、金融資本市場の変動の影響等による景気の下振れリスクが懸念されております。

当社グループに関連する経営環境につきましては、設備投資は、企業収益の改善や成長分野への対応により増加傾向にある一方で、新設住宅着工件数は前年比約1.0%減少となっております。今後、東京オリンピックや大阪万博等の効果により需要は拡大すると思われまます。

このような状況の中、当社グループの売上高につきましては、主原材料である銅価格が前年並で推移したものの、主要得意先への販売が伸び悩んだこともあり、売上高は前年同期並となりました。

営業利益につきましては、高付加価値製品の販売の伸び悩みや販売費及び一般管理費における手数料や運送費の増加の影響により前年同期より減少しました。

経常利益につきましては、上記理由により前年同期より減少しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、羽曳野工場の社宅解体に伴う減損損失の発生等や、法人税等合計額が増加したことにより前年同期より減少しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,920百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は269百万円（前年同期比24.6%減）、経常利益279百万円（前年同期比22.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は174百万円（前年同期比62.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[電線]

当事業の主要な市場である建設・電販向けは、東京オリンピックに向けて出荷量は伸びており、当社においても高付加価値商品の販売量は増加したものの、台風等の自然災害による線材メーカーの生産・供給の遅れや工場での人手不足等による納期遅延等の影響で売上高は、4,624百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

利益面につきましては、運送費・手数料の増加やフィリピン子会社での新工場建設の費用の影響等により、セグメント利益は184百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

なお、フィリピン子会社では、BCP対策と東南アジア地域への販売も視野に入れたゴム電線の生産を2018年12月から開始しております。

また、国内では、新規参入としてロボット・FA業界向けのロボット用電線の生産を2019年1月から開始しております。

2019年12月には技術開発センターを新設し、最新の研究開発設備を導入し、新製品開発のスピードアップを図ります。併せて、新製品開発に向けた共同研究を、国立大学法人大阪大学と産学連携で推進しています。

[ポリマテック]

当事業に関連性のある新設住宅着工件数が前年比約1.0%減少した影響と、新規顧客獲得が遅効している結果、全体の売上高は1,747百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

利益面につきましては、生産性の改善等によるコスト削減に取り組みましたが、売上高の減少及び原材料・副資材・運送費の値上がりの影響を受け、セグメント利益は52百万円（前年同期比45.5%減）となりました。

[電熱線]

当事業に関連のある白物家電向けヒーター用途及び一部の海外向け販売が減少傾向で推移致しましたが、国内の産業機器向け及び抵抗器向け需要が引き続き好調であったことに加え、前年度後半に獲得しました自動車関連及び住宅設備機器関連での受注増により売上高は547百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

利益面につきましては、生産性の改善等に取り組みましたが、比較的付加価値の高いニッケル系鋼種及び帯製品の販売が減少したことや工場移転の検討に伴う経費増によりセグメント利益は32百万円（前年同期比45.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,053百万円となり、前連結会計年度末と比べ103百万円減少しました。これは主に電子記録債権が63百万円増加しましたが、現金及び預金が171百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は3,656百万円となり、前連結会計年度末に比べ321百万円増加しました。これは主に有形固定資産のその他に含まれる建物が175百万円、リース資産（有形）が118百万円、建設仮勘定が48百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は9,709百万円となり、前連結会計年度末に比べ218百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,292百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円増加しました。これは主に短期借入金が200百万円、電子記録債務が42百万円、未払法人税が8百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が119百万円、賞与引当金が39百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は1,222百万円となり、前連結会計年度末に比べ100百万円増加しました。これは主に長期借入金が218百万円、固定負債のその他に含まれるリース債務が41百万円増加しましたが、退職給付にかかる負債が152百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,514百万円となり前連結会計年度末に比べ196百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,195百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円増加しました。これは主に利益剰余金が117百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が88百万円、為替換算調整勘定が5百万円、退職給付に係る調整累計額1百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は53.5%（前連結会計年度末は54.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日公表の決算短信に記載しております連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,090,606	919,221
受取手形及び売掛金	3,133,569	3,013,315
電子記録債権	417,354	481,259
商品及び製品	921,641	962,720
仕掛品	251,511	248,533
原材料及び貯蔵品	291,181	345,441
その他	50,685	82,978
流動資産合計	6,156,551	6,053,469
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,680,320	1,787,559
その他(純額)	695,478	998,893
有形固定資産合計	2,375,798	2,786,452
無形固定資産		
	40,934	94,828
投資その他の資産		
投資有価証券	690,373	566,617
その他	229,590	210,370
貸倒引当金	△1,775	△1,775
投資その他の資産合計	918,188	775,213
固定資産合計	3,334,921	3,656,493
資産合計	9,491,473	9,709,963
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,063,697	944,515
電子記録債務	979,715	1,021,854
短期借入金	370,000	570,000
未払費用	31,399	26,042
未払法人税等	9,382	18,050
賞与引当金	74,277	35,223
その他	669,165	677,096
流動負債合計	3,197,638	3,292,783
固定負債		
長期借入金	791,898	1,010,768
退職給付に係る負債	262,660	110,259
その他	66,650	101,096
固定負債合計	1,121,209	1,222,124
負債合計	4,318,848	4,514,907

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,518	1,136,518
資本剰余金	1,133,657	1,133,657
利益剰余金	2,719,122	2,836,587
自己株式	△150,526	△150,528
株主資本合計	4,838,772	4,956,235
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	271,692	183,571
為替換算調整勘定	20,555	15,176
退職給付に係る調整累計額	41,604	40,071
その他の包括利益累計額合計	333,852	238,820
純資産合計	5,172,624	5,195,055
負債純資産合計	9,491,473	9,709,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	6,968,126	6,920,143
売上原価	5,502,529	5,500,105
売上総利益	1,465,596	1,420,038
販売費及び一般管理費	1,107,528	1,150,094
営業利益	358,068	269,944
営業外収益		
受取利息	50	269
受取配当金	11,863	13,907
受取家賃	6,735	6,615
仕入割引	4,849	4,213
為替差益	—	2,519
その他	10,124	11,172
営業外収益合計	33,623	38,697
営業外費用		
支払利息	8,157	7,089
売上割引	14,386	14,818
為替差損	3,513	—
その他	6,612	7,117
営業外費用合計	32,670	29,025
経常利益	359,021	279,615
特別利益		
固定資産売却益	40,102	—
投資有価証券売却益	19,422	576
役員退職慰労金債務免除益	9,362	—
特別利益合計	68,887	576
特別損失		
固定資産売却損	4,672	—
固定資産除却損	898	1,531
減損損失	—	10,341
事務所移転費用	124	497
特別損失合計	5,695	12,370
税金等調整前四半期純利益	422,213	267,822
法人税、住民税及び事業税	24,562	24,629
法人税等調整額	△63,479	68,631
法人税等合計	△38,917	93,261
四半期純利益	461,130	174,560
親会社株主に帰属する四半期純利益	461,130	174,560

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	461,130	174,560
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	96,856	△88,120
為替換算調整勘定	△3,685	△5,379
退職給付に係る調整額	3,800	△1,532
その他の包括利益合計	96,971	△95,032
四半期包括利益	558,102	79,527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	558,102	79,527

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	4,585,958	1,840,301	541,866	6,968,126
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,046	—	28	6,074
計	4,592,005	1,840,301	541,894	6,974,201
セグメント利益	202,442	96,775	58,850	358,068

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	4,624,726	1,747,718	547,698	6,920,143
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,972	—	127	7,100
計	4,631,699	1,747,718	547,826	6,927,244
セグメント利益	184,810	52,787	32,345	269,944

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。